

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1142
施設名	仲町にここ保育園
施設所在地	小平市仲町351-38
法人名	社会福祉法人豊仁会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

感触あそび

<テーマの設定理由>

乳児クラス、特に0歳児は目で見たり触れたりすることで違いが分かりやすいと思いました。
日々の保育に取り入れやすいので選びました。

2. 活動スケジュール

・7/15様々な素材（梱包材）・8/6布玩具・9/4水や氷やスライム・9/26砂・12/5
ミカン狩り・2/9雪遊び・2/25スライム

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・布玩具や絵本（触り心地が違うもの）・日常の手作り玩具・肌触りの違う素材を壁に貼る
・スライムを作る・水や氷・突発で雪

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

子ども達が興味を示すよう保育者が率先して触るようにした。（砂、水、氷、雪、つらら、梱包材、スライム、イボイボボール、布玩具、布絵本）その日だけの活動にならないように玩具などは常に置いておき梱包材もしばらく押入れのドアに貼って子ども達が好きな時に触れるようにした。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）砂遊びや水遊びは初めて触れる時に躊躇する子もいたが保育者や友だちが触っているのを見て少しずつ「触ってみよう」という気持ちになっていった。氷の時は隣の友だちに「さわってみて」とでも言うかのように渡す様子など見られた。聞き取れる発語はなかったが「冷たい」などを表情や仕草で表していた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

特別設定したこともあったが0歳児クラスなので日常の中で感触を楽しめる玩具を用意することも多かった。布絵本や玩具は好きな時に触れられるようにしている。はじめはただ触って感触の違いを楽しんでいたが今では「ブタのしっぽ」「犬のしっぽ」ト動物に興味を示し始め遊び方が変わってきている。テーマを感触遊びにしたことで改めて五感の一つの「感触」は保育に必要なものだと感じました。